

科目名	解剖生理学		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①外部講師			
科目目標	1. 人体の発生、構成について知り、人間の生命現象について理解する。 2. 系統的に人体の構造と機能を理解する。			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	人体の機能	1. 解剖生理学総論 1) 人体の発生と老化 2) 細胞・組織 3) 皮膚・膜 4) 血液 5) 感染防御と免疫反応 6) ホメオスタシス 7) 間質液・リンパ・体液・電解質 8) 遺伝	講義	①
2				
3				
4				
5		2. 骨格・筋の構成と機能 3. 消化器系の解剖・生理 4. 呼吸器系の解剖・生理 5. 腎臓・泌尿器系の解剖・生理 6. 生殖器系の解剖・生理 7. 発生学 8. 内分泌系の形態・生理		
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12		9. 循環器系の形態・生理		
13		10. 中枢神経系・末梢神経系の解剖・生理		
14		11. 感覚器の解剖・生理		
15		単位認定試験(45分) まとめ		
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院			
備考				

科目名	疾病と治療（総論）		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	①外部講師 ②放射線技師 ③外部講師 ④外部講師 ⑤外部講師				
科目目標	1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する 2. さまざまな疾病をもたらす身体内部の変化を理解する 3. 診断に結びつく各種検査の内容を理解する 4. 様々な機能障害を治療する方法について理解する				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	細胞・組織の損傷と修復, 炎症	1. 細胞・組織の損傷と適応 2. 細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症 3. 炎症の分類と治療		講義	①
	免疫, 移植と再生医療	1. 免疫と免疫不全 2. アレルギーと自己免疫疾患 3. 移植と再生医療			
2	感染症	1. 感染の成立と感染症の発病 2. おもな感染症 3. 感染症の治療・予防			
	循環障害	1. 循環系の概要 2. 浮腫（水腫） 3. 充血とうっ血 4. 出血と止血 5. 血栓症 6. 塞栓症 7. 虚血と梗塞 8. 側副循環による障害			
3	代謝障害	1. 脂質代謝障害 2. タンパク質代謝障害 3. 糖質代謝異常 4. そのほかの代謝障害			
4	老化と死	1. 個体の老化と老年症候群 2. 老化のメカニズムと細胞・組織・臓器の変化 3. 個体の死と終末期医療 1) 死の三兆候 2) 脳死			
5	腫瘍	1. 腫瘍の定義と分類 2. 悪性腫瘍の広がりや影響 3. 腫瘍発生の病理 4. 腫瘍の診断と治療			

6	診断と検査	1. 臨床検査とは 2. 各種検査 1) 一般検査 2) 血液検査 3) 生化学検査 4) 内分泌検査 5) 感染症検査 6) 免疫的検査 7) 腫瘍マーカー 8) 生理学的検査 9) 病理検査		
7	治療法	1. 薬物療法 2. 食事療法 3. 運動療法 4. リハビリテーション療法 5. 放射線療法 6. 内視鏡的治療 7. 手術療法 8. 人工臓器		
8	放射線診断と治療	1. 放射線の種類と性質 2. 放射線障害と防御 3. 画像診断 1) X線診断 2) 血管撮影・IVR 3) MRI検査 4) 超音波検査	講義	②
9		4. 放射線治療 5. 放射線診断と看護		
10	手術療法	1. 手術療法の目的と意義 2. 外科手術手技・処置の基本 3. 内視鏡的治療	講義	③
11		4. 外科的侵襲と生体反応 5. 輸血療法 6. 手術前・中・後の管理		
12	麻酔法	1. 麻酔の歴史 2. 麻酔の役割 3. 全身麻酔と局所麻酔	講義	④
13		4. 麻酔の合併症 5. 全身管理		
14	疼痛緩和	1. 疼痛のアセスメント 2. 疼痛コントロール		
15	単位認定試験(45分) まとめ			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 専門分野 疾病の治療と成り立ちと回復1 病理学 医学書院 ・系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 ・成人看護学4 周術期看護 メディカ出版 ・系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 			
備考				

科目名	疾病と治療 I	対象学生・時期	1 年生・後期	
	(中枢神経・感覚器機能障害・運動機能障害と治療)	講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①外部講師 ②外部講師 ③医師 ④医師			
科目目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解する 2. 感覚機能の障害とその治療について理解する 3. 運動機能の障害とその治療について理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	脳神経系疾患の症状と主な病態	1. 運動機能障害 2. 感覚機能障害	講義	①
2		3. 意識障害 4. 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア 5. 髄膜刺激症状		
3	脳神経系疾患の主な疾患と内科的治療	1. 脳疾患 1) 脳梗塞 2) 脳腫瘍 3) くも膜下出血		
4		2. 末梢神経障害 1) 多発性ニューロパチー 2) 糖尿病性ニューロパチー 3) ギランバレー症候群 4) 圧迫性神経障害 5) 顔面神経麻痺		
5		3. 筋疾患・神経筋接合部疾患 1) 筋ジストロフィー 2) 多発性筋炎 3) 重症筋無力症		
6		4. 脱髄・変性疾患 1) 多発性硬化症 2) パーキンソン病 3) 筋萎縮性側索硬化症 4) 脊髄小脳変性症 5. 中枢神経系疾患 1) 脊髄損傷 2) 機能性疾患 6. 認知症 7. 内科疾患に伴う神経疾患 1) 神経ベーチェット病 2) 甲状腺機能低下症		

7	眼の主な疾患と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な検査 <ol style="list-style-type: none"> 1) 視力検査 2) 眼底検査 3) 眼圧検査 2. 主な疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 屈折の異常：近視・遠視・乱視 2) 調節の異常：老眼 3) 眼位・眼球運動の異常：斜視 4) 部位別疾患：麦粒腫、細菌性結膜炎、流行性角結膜炎、アレルギー性結膜炎、単純ヘルペス性角膜炎、糖尿病性網膜症、白内障、緑内障、うっ血乳頭 3. 主な治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) 点眼法 2) 洗眼法 3) 光凝固 4) 屈折矯正 5) 手術 		②
8	耳鼻咽喉・頸部の主な症状と病態	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耳に現れる症状と病態 難聴、耳鳴、めまい、耳漏 2. 鼻に現れる症状と病態 鼻閉、くしゃみ、鼻出血、嗅覚障害 3. 外耳疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 外耳炎 2) 外耳異物 4. 中耳疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鼓膜損傷 2) 耳管狭窄症 3) 滲出性中耳炎 4) 急性中耳炎 5. 内耳・後迷路性疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) メニエール病 2) 音響障害 3) 老人性難聴 4) 突発性難聴 6. 外鼻疾患：外傷 7. 鼻腔疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 鼻出血 2) 急性鼻炎 3) 鼻アレルギー 		③

<p>9</p>	<p>耳鼻咽喉・頸部の主な疾患と治療</p>	<p>8. 副鼻腔疾患 1) 急性副鼻腔炎 2) 慢性副鼻腔炎 9. 口腔・咽頭疾患 1) 口唇ヘルペス 2) ペーチェット病 3) アフタ性口内 4) 味覚障害 10. 咽頭疾患 1) 咽頭炎 2) 急性扁桃炎 3) 扁桃周囲炎 4) 扁桃周囲膿瘍 5) がん 11. 唾液腺疾患 1) シェーグレン症候群 12. 喉頭疾患 1) 急性喉頭炎 2) 仮性ク룹 3) 喉頭ポリープ 4) がん 13. 主な治療 1) 点鼻・点耳 2) 鼓膜切開 3) 手術</p>		
<p>10</p>	<p>運動器の症状と病態</p>	<p>1. 疼痛 2. 形態の異常 3. 関節運動の異常 4. 神経の障害 5. 異常歩行または跛行 6. 筋肉の障害</p>		<p>④</p>
<p>11</p>	<p>診断・検査と治療・処置</p>	<p>1. 診断・診察の流れ 1) 問診・視診 2) 肢位・姿勢 3) 計測 4) 神経学的検査 5) 画像検査 (X線、MRI、脊髓造影検査、骨シンチ等) 2. 検査 1) 骨密度測定 2) 関節鏡 3. 治療・処置 1) 保存療法 (ギプス) 包帯法 2) 理学療法と作業療法 3) 義肢と装具 4) 手術療法</p>		

12	疾患の理解	1. 骨折 1)骨折とは 2)各種の骨折		
13		2. 脱臼 1)脱臼とは 2)各種の脱臼		
14		3. 捻挫 4. 神経の損傷 5. 筋・腱・靭帯などの損傷		
14		6. 骨・関節の炎症性疾患 7. 骨腫瘍および軟部腫瘍 8. 脊椎の疾患 1) 腰部脊柱管狭窄症 2) 椎間板ヘルニア 3) すべり症 4) 骨粗鬆症 5) 骨端症 9. ロコモティブシンドロームと運動器不安定症		
15	単位認定試験(45分) まとめ			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患と看護 5 脳・神経 ・疾患と看護 6 眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚 ・疾患と看護 7 運動器 		<ul style="list-style-type: none"> メディカ出版 メディカ出版 メディカ出版 	
備考				

科目名	疾病と治療Ⅱ (呼吸・循環・造血機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①外部講師 ②医師 ③外部講師			
科目目標	1. 呼吸機能の障害とその治療について理解する 2. 循環機能の障害とその治療について理解する 3. 造血機能の障害とその治療について理解する 4. 生命の危機状態とその対処方法について理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	呼吸機能障害の症状とその病態	1. 自覚症状 1) 喀痰 2) 血痰・喀血 3) 咳嗽 4) 胸痛 5) 呼吸困難 6) チアノーゼ 7) 発熱 8) ばち指	講義	①
2	呼吸機能障害の検査と処置	1. 検査 1) 血液検査 2) 喀痰検査 3) 内視鏡検査 4) 呼吸機能検査 2. 処置 1) 吸入療法 2) 酸素療法 3) 人工呼吸療法		
3	呼吸機能障害の理解	1. 感染による気道・肺の炎症と治療 1) かぜと急性気管支炎 2) インフルエンザ 3) 肺炎 4) 結核 5) 非結核性抗酸菌症 2. 間質性肺炎とその治療 1) 原因不明の間質性肺炎 2) サルコイドーシス 3) じん肺		
4		3. 気道疾患とその治療 1) 気管支喘息 2) 気管支拡張症 3) 慢性閉塞性肺疾患 4. 肺血栓塞栓症とその治療		
5		5. 呼吸不全とその治療 6. 呼吸調節に関する疾患 1) 過換気症候群 2) 睡眠時無呼吸症候群		

6		<ul style="list-style-type: none"> 7. 肺腫瘍（肺癌）とその治療 8. 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患とその治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 胸膜炎 2) 自然気胸 3) 縦隔腫瘍 9. 呼吸機能の障害による循環機能への影響とその治療 		
7	在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 在宅酸素療法（肺癌を中心に） 2. 在宅緩和ケア 		
8	循環機能障害の症状とその病態	<ul style="list-style-type: none"> 1. 循環機能障害の症状とその病態 <ul style="list-style-type: none"> 1) 胸痛 2) 動悸 3) 浮腫 4) めまい・失神 5) ショック 	講義	②
	循環機能障害の検査と治療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 検査 <ul style="list-style-type: none"> 1) 心電図 2) 心臓カテーテル検査 2. 内科的治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 薬物療法 2) 経皮的冠状動脈インターベンション 3) ペースメーカー 		
9	循環機能の障害とその治療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 出生前の異常による心機能の障害と治療 2. 後天的に心機能の障害を引き起こす疾病と治療 3. 心筋の酸素欠乏による心機能障害と治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 労作性狭心症 2) 冠れん縮性狭心症 3) 不安定狭心症 4) 急性心筋梗塞 		
10		<ul style="list-style-type: none"> 4. 心機能の低下をきたした状態と治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 心不全 2) 弁膜症 3) 心筋症 4) 炎症性疾患 5. 血圧の異常と治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 高血圧 		
11		<ul style="list-style-type: none"> 6. 心臓のリズムの障害と治療 7. 血液の供給を障害する血管の疾病と治療 8. 循環機能の変化を伴う体温の上昇と治療 		
12		循環器の外科的治療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 外科的治療 <ul style="list-style-type: none"> 1) 心臓手術の周手術期管理 2) 冠状動脈バイパス術 	

		3) 弁膜症に対する手術 4) 大血管再建術 5) 血栓除去術 6) 補助循環装置		
13	血液・造血機能障害の病態生理	1. 症候と病態生理	講義	③
	血液・造血機能障害とその治療	1. 赤血球の異常 1) 鉄欠乏性貧血 2) 再生不良性貧血 2. 造血器腫瘍 1) 急性白血病 2) 慢性骨髄性白血病 3) 悪性リンパ腫 4) 白血球減少症		
14		3. 出血性疾患 1) 血小板異常による出血性疾患 2) 播種性血管内凝固症候群 3) 多臓器不全 (DIC) 4. 輸血療法		
15	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・疾患と看護1 呼吸器 メディカ出版 ・疾患と看護2 循環器 メディカ出版 ・疾患と看護4 血液・アレルギー・膠原病・感染症 メディカ出版			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅲ (吸収、代謝、排泄機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・後期	
			講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①医師 ②外部講師 ③医師 ④外部講師 ⑤歯科医師				
科目目標	1. 栄養摂取(食)の障害と治療について理解する 2. 肝機能・糖代謝・脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する 3. 排泄機能の障害と治療について理解する				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	栄養摂取(食)障害の 症状とその病態生理	1. 栄養摂取(食)障害の症状 1) 嚥下困難 2) おくび、胸やけ 3) 吐き気・おう吐 4) 腹痛 5) 吐血・下血 6) 下痢・便秘 7) 腹部膨満 8) 食欲不振と体重減少 9) 腹水 10) 黄疸 11) 肝性脳症		講義	①
2	栄養摂取(食)障害の 検査と治療	1. 検査 1) 肝機能検査 2) 内視鏡検査 3) 肝生検 4) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 2. 治療 1) 薬物療法 2) 栄養療法・食事療法 3) 手術療法			
3		1. 食道の疾患 1) 食道がん 2) 食道アカラシア 2. 胃・十二指腸 1) 機能的胃腸炎 2) 胃炎 3) 胃・十二指腸潰瘍 4) 胃癌			
4	消化管の機能障害と 治療	3. 腸および腹膜の疾患 1) 過敏性腸症候群 2) 腸炎 3) 腹膜炎 4) 虫垂炎 5) ヘルニア 6) イレウス 7) 消化管憩室 8) 腸管ポリープ 9) 結腸癌・直腸癌 10) 肛門疾患		講義	②

5	肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害と治療	4. 肝臓・胆嚢の疾患 1) 肝炎 2) 肝硬変 3) 門脈圧亢進症 4) 肝不全 5) 肝臓癌 6) 肝外傷 7) 急性胆嚢炎および胆管炎 8) 胆管癌 9) 胆嚢癌 10) 胆嚢ポリープ		
6		5. 膵臓の疾患 1) 膵炎 2) 膵臓がん 6. 急性腹症 7. 腹部外傷		
7	排泄機能障害の症状とその病態	1. 排尿に関連した症状 1) 頻尿 2) 過活動性膀胱 3) 尿失禁 4) 排尿症状 5) 水と電解質の異常 6) 尿毒症	講義	③
	排泄機能障害の検査と治療	1. 排泄機能障害の検査 1) 尿検査 2) 腎機能検査 2. 排泄機能の治療 1) 透析療法		
8	排泄機能の障害と治療	1. 腎不全と慢性腎臓病 2. 原発性糸球体腎炎、ネフローゼ 3. 尿細管機能異常 1) 腎性尿崩症		
9		4. 尿路感染症 1) 腎盂腎炎 5. 尿路の通過障害と機能障害 1) 水腎症と水尿管症 2) 膀胱尿管逆流 6. 全身疾患による腎障害 1) 糖尿病性腎症		
10	男性生殖器・泌尿器機能障害の症状と検査・治療	1. 症状と病態 陰嚢部の腫瘍、精巣および性機能障害 2. 尿の異常 3. 排尿に関連した症状 1) 頻尿 2) 過活動性膀胱 3) 尿失禁 4) 排尿症状 4. 経尿道的操作および内視鏡検査 5. 手術療法 6. 体外衝撃波結石破砕術 (ESWL)	講義	④

科目名	疾病と治療Ⅳ	対象学生・時期	1年生・後期	
	(内部環境・生体防御機能障害と治療)	講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①外部講師 ②医師 ③外部講師 ④外部講師 ⑤外部講師			
科目目標	1. 内分泌機能の障害と治療について理解する 2. 体液調節機能の障害と治療について理解する 3. 自律神経の失調とその治療について理解する 4. 生体防御機能障害と治療について理解する 5. 生殖機能の障害と治療について理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	代謝機能障害と栄養疾患の治療	1. 糖尿病 2. 脂質異常 3. 高尿酸血症・痛風	講義	①
2	内分泌機能の障害と治療	1. 視床下部・下垂体前葉系疾患 1) プロラクチノーマ 2) 巨人症 3) 先端巨大症 4) クッシング病 5) 下垂体機能低下症 6) 下垂体腫瘍 2. 視床下部・下垂体後葉系疾患 1) 尿崩症 2) ADH不適切分泌症候群		
3		3. 甲状腺疾患 1) 橋本病 2) バセドウ病 3) 甲状腺機能低下症 4) 亜急性甲状腺炎 5) 甲状腺腫瘍		
4		4. 副甲状腺疾患 1) 副甲状腺機能低下症 2) 原発性副甲状腺機能亢進症 3) 続発性副甲状腺機能亢進症		
5		5. 副腎疾患 1) 原発性アルドステロン症 2) クッシング症候群 3) 褐色細胞腫 4) 原発性副腎皮質機能低下症 6. 性腺疾患 7. 内分泌疾患の救急治療 1) 副腎クリーゼ 2) 甲状腺クリーゼ 3) 高カルシウム血症クリーゼ		
6		自律神経失調に伴う身体変化		

	体液の調節障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水、電解質の異常 <ol style="list-style-type: none"> 1) 脱水 2) 浮腫 3) 低ナトリウム血症 4) 高カリウム血症 2. 酸塩基平衡の異常 		
7	皮膚の症状とその病態生理、検査と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査 <ol style="list-style-type: none"> 1) 免疫・アレルギー検査 2) 光線過敏性検査 2. 治療・処置 <ol style="list-style-type: none"> 1) 全身療法 2) 外用薬 3) 手術療法 4) 光線療法 5) レーザー療法 6) 凍結療法 7) 温熱療法 	講義	②
	皮膚疾患の理解	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表在性皮膚疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 湿疹・皮膚炎群 (アレルギー性皮膚炎) 2) 蕁麻疹群 3) 薬疹 2. 血行障害 <ol style="list-style-type: none"> 1) 皮斑 2) レイノー現象 3) バージェー病 3. 物理・化学的皮膚障害 <ol style="list-style-type: none"> 1) 熱傷 2) 凍傷 3) 放射線皮膚炎 4. 色素異常 <ol style="list-style-type: none"> 1) 色素脱失症 2) 色素増加症 5. 感染症 <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般細菌感染症 2) ハンセン病 3) 真菌感染症 4) ウイルス感染症 (帯状疱疹) 5) 蜂窩織炎 6) 梅毒 6. 寄生虫・動物が関与する疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 疥癬 2) シラミ症 		
8	免疫機能障害の症状と検査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己免疫疾患の病態と治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己免疫疾患の機序 2) 症状と病態生理 3) 検査と治療 	講義	③
9	アレルギーの症状と検査、治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギー性疾患の病態と治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) アレルギーの仕組み 2) 検査と治療 		
10				

		2. アレルギーの理解 1) 花粉症 2) 食物アレルギー 3) アナフィラキシー 4) 薬物アレルギー		
11	免疫機能の障害と治療	2. 疾患の理解 1) 全身性エリテマトーデス 2) 関節リウマチ 3) シェーグレン症候群		
12		3. 免疫低下に関連する疾患の病態と治療 1) 敗血症 2) ヒト免疫不全ウイルス感染症		
13	女性生殖器機能障害の症状	1. 女性生殖器障害の症状 1) ショック 2) 出血 3) 帯下 4) 疼痛 5) 発熱 6) 下腹部膨満・腫瘤感 7) 外陰部搔痒感 8) リンパ浮腫	講義	④
	女性生殖機能障害の診察・検査と治療・処置	1. 診察・検査 1) 内診 2) 膣鏡診 3) 子宮ゾンデ診 2. 治療・処置 1) 膣洗浄 2) 診察・治療器具 3) 薬物療法（ホルモン療法） 4) 手術		
14	女性生殖機能障害の理解	1. 性分化疾患 2. 臓器別疾患 1) 外陰の疾患（バーチェット病） 3. 膣の疾患 1) 膣炎 4. 子宮の疾患 1) 発生・発達の異常 2) 子宮がん 3) 子宮の位置異常 4) 子宮筋腫 5) 子宮内膜症 6) 絨毛性疾患		
		5. 卵管の疾患 1) 炎症 2) 腫瘍 6. 卵巣の疾患 1) 骨盤内炎症性疾患 2) 卵巣腫瘍 3) 卵巣癌		

		7. 機能的疾患 1) 月経異常・月経随伴症状 2) 更年期障害 3) 不妊症 4) 感染症		
15	乳房の疾患	1. 乳がん 2. 乳腺良性腫瘍 3. 炎症	講義	⑤
※ 時間外で実施	単位認定試験 (45分)			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・疾患と看護8 腎／泌尿器／内分泌／代謝 メディカ出版 ・疾患と看護6 眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚 メディカ出版 ・疾患と看護4 血液／アレルギー・膠原病／感染症 メディカ出版 ・疾患と看護9 女性生殖器 メディカ出版			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅴ 小児に特徴的な機能障害と治療		対象学生・時期	1年生・後期
			講義時間(単位)	15時間(1)
講師名	①外部講師 ②医師			
科目目標	1. 小児看護でよく遭遇する機能障害とその治療について理解する。			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	小児医療と機能障害	1. 小児医療の変遷と現状 2. 発達・発育過程で生じる機能障害 3. 児童虐待	講義	①
	特徴的な循環器障害と治療	1. 先天性心疾患 (ファロー4徴候、大血管転位症、心室中隔欠損症、心不全) 2. 川崎病 3. 乳児突然死		
2	特徴的な感染症と治療	1. 感染の成り立ち 2. 子どもの免疫の特徴 3. ウィルス感染症 4. 細菌感染症 5. 予防接種 6. 感染対策(院内感染、医療従事者の健康管理)		
3	特徴的なアレルギー・呼吸障害と治療	1. 小児の呼吸器疾患の特徴 2. 先天異常による呼吸器疾患 3. 気管支喘息 4. アレルギーの成り立ち 5. アレルギーの種類(食物アレルギー) 6. アレルギーの検査と治療		
4	新生児に特徴的な機能障害と治療	1. 新生児の特徴 2. 新生児死亡率 3. 新生児仮死 4. 新生児一過性多呼吸 5. 胎便吸引症候群 6. 新生児黄疸 7. 乳幼児突然死症候群	講義	②
	遺伝子・染色体異常と形態異常と治療	1. 染色体異常 2. 口唇・口蓋裂		

5	特徴的な腎・尿路系障害と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な腎・尿路系疾患 (ネフローゼ症候群、尿路感染など) 2. 尿検査と処置 3. 腎・尿路系の先天奇形 4. 夜尿症 	講義	②
	消化器系障害と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な口腔内疾患 (口内炎、地図状舌など) 2. 代表的な消化器疾患 (腸重積、横隔膜ヘルニア、先天性胆道閉鎖症など) 		
6	特徴的な血液・造血器疾患と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の血液疾患・がん (鉄欠乏性貧血、紫斑病、横紋筋肉腫、白血病など) 	講義	
	内分泌・代謝疾患と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の内分泌・代謝疾患 (バセドウ病、低身長、橋本病など) 2. 糖尿病の検査と治療、家族への説明 		
7	小児の精神・神経疾患と治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. てんかん 2. 熱性痙攣 3. 脳性麻痺 4. 水頭症 5. もやもや病 6. 発達障害 		
8	単位認定試験 (45分)			①
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・小児看護学3 小児の疾患と看護 メディカ出版			
備考				

科目名	疾病と治療VI (精神障害と治療)		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	①医師 ②医師				
科目目標	1. 精神の障害とその診断および検査と治療を理解する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	精神医療概論	1. 精神症状と状態像 2. 精神障害の原因の分類 3. 心理検査 4. 主な治療法	講義	①	
	統合失調症	1. 統合失調症の病型と症状・治療			
2	気分障害	1. うつ病 2. 双極性障害			
3	器質性精神障害	1. 認知症 2. 症状精神病			
4	神経症性障害、ストレス 関連障害および身体表現 性障害	1. 恐怖症性不安障害 2. 強迫性障害 3. 重度ストレス反応および適応障害 4. 解離性障害 5. 身体表現性障害	講義		②
		1. 神経性無食欲症 2. 神経性過食症 3. 精神作用物質使用による精神及び 行動の異常 4. 睡眠覚醒障害			
5	摂食障害、精神作用物質に よる精神および行動の 障害				
6	児童思春期の精神医学	1. 精神遅滞 2. 自閉症 3. ADHD			
7	自殺予防	1. ストレスと自殺 1) 自殺の統計 2) 自殺者の動機 3) 悩みやストレスの状況 2. ストレス対処方法 3. 精神科救急 4. 環境への働きかけ			
8	単位認定試験(45分)				
評価方法	筆記試験				
使用テキスト	・精神看護学2 精神障害と看護の実践 メディカ出版				
備考					

科目名	栄養学 (物質の代謝・食事療法)	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①管理栄養士			
科目目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	栄養学の基礎的知識	1. 栄養学の意義と看護 2. 栄養とは 1) 栄養と栄養素 2) 栄養素の種類と働き (エネルギー・栄養) (1) たんぱく質 (2) 脂質	講義	①
2		(3) 炭水化物(糖質) (4) ビタミン		
3		(5) ミネラル (6) 水		
4		3. 栄養アセスメント (栄養状態の評価・判定) 1) 栄養サポートチーム(NST) 2) 身体計測 3) 臨床検査 4) 食事状態の評価・判定		
5	食品成分の食事摂取基準	1. 食品成分とエネルギー 1) 食物のもつエネルギー 2) エネルギー消費量 3) 食品の分類と食品群 4) 食品標準成分表 5) 不足しがちな栄養素と食品 2. 日本人の食事摂取基準 1) 策定方針 2) 指標 3) 策定方法 4) 活用に関する基本事項		
6		5) 対象特性と留意点 (1) ライフステージと栄養 ① 乳児期から成人期		
7		② 妊娠・授乳期 ③ 高齢期		
8	日常生活と栄養	1. 食文化 2. 運動と栄養 1) 運動とエネルギー源としての栄養素		

		<ul style="list-style-type: none"> 2) エネルギー産生に関わる栄養素 3) 運動による身体づくりと栄養素 4) 身体機能の調節に関わる栄養素 5) 体温調節と栄養素 6) リハビリテーションと栄養管理 7) 健康寿命と栄養管理 		
9	療養生活と栄養	<ul style="list-style-type: none"> 1. 治療回復促進の食事と栄養管理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 検査食 2) 周術期 3) 化学療法時・放射線療法時 2. 栄養成分別のコントロール食 	講義	
10		<ul style="list-style-type: none"> 3. 嚥下障害のある人のための食事 4. 栄養補給法 		
11	疾患別食事療法	<ul style="list-style-type: none"> 1. 消化器疾患 <ul style="list-style-type: none"> 1) 胃・腸疾患の食事 2) 胆・肝・膵疾患の食事 3) 胃・大腸・食道術後の食事 		
12		<ul style="list-style-type: none"> 2. 内分泌・代謝疾患 <ul style="list-style-type: none"> 1) 糖尿病 2) 脂質異常症（高脂血症） 3) 高尿酸血症（痛風） 4) メタボリックシンドローム 		
13		<ul style="list-style-type: none"> 3. 循環器疾患 <ul style="list-style-type: none"> 1) 高血圧症の食事 2) 動脈硬化症の食事（脳血管疾患） 3) うっ血性心不全の食事 4. 腎疾患 <ul style="list-style-type: none"> 1) 急性腎炎症候群 2) ネフローゼ症候群 3) 慢性腎臓病（CKD） 		
14	栄養食事指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> 1. 健康促進のための栄養指導 <ul style="list-style-type: none"> 1) 食生活指針 2) 健康教育の方法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 対象の把握 (2) 目的・目標 (3) 評価 2. 食習慣改善のための栄養指導 <ul style="list-style-type: none"> 1) 栄養指導の基本 2) チームアプローチと看護師の役割 		
15	単位認定試験（45分） まとめ			

評価方法	筆記試験
使用テキスト	・疾病の成り立ちと回復の促進4 臨床栄養学 メディカ出版
備考	

科目名	微生物学		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①外部講師			
科目目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を学ぶ 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する 3. 医薬品による健康障害を理解する 4. 感染症とその変貌を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	微生物の種類と特徴	1. 微生物学の背景 2. 微生物の種類と特徴	講義	①
2	細菌の性質	1. 形態・構造・増殖・代謝		
3	感染とその防御	1. 感染の種類と感染経路 2. 細菌の病原因子		
4	感染に対する生体の防御機構	1. 自然免疫 2. 免疫関連臓器と細胞		
5		3. 獲得免疫の仕組み		
6		4. 粘膜免疫 5. ワクチン 6. 細胞性免疫		
7	感染症の検査と診断	1. 感染症の診断法		
	滅菌と消毒	1. 滅菌と消毒		
8	感染症の治療	1. 化学療法薬 2. 薬剤耐性について		
9	おもな病原微生物と感染症	1. ウイルスの特徴・構造・増殖		
10		2. 主なウイルスとウイルス感染症		
11		3. グラム陽性球菌 4. グラム陰性球菌感染症		
		5. グラム陰性桿菌 6. グラム陽性桿菌感染症		
13		7. 抗酸菌 8. スピロヘータなどの感染症		
14		9. 病原真菌 10. 原虫感染症		
15		単位認定試験(45分) まとめ		
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 4 微生物学 医学書院			
備考				

科目名	薬理学		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①薬剤師 ②薬剤師				
科目目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1 2	医薬品の取り扱い	1. 医薬品の基礎知識 1) 医薬品とは 2) 医薬品の分類と名称 3) 医薬品に関する法律 2. 医薬品の作用機序と影響 1) 薬理作用の原理 2) 体内における薬の働きと影響 3. 医薬品の処方と調剤 4. 医薬品の適正使用と情報の活用 5. 医薬品による健康被害		講義	①
3	薬物治療の実際	1. 患者と薬物療法 2. 薬物治療の評価 3. 安全管理 1) 医薬品の安全管理対策 2) 禁忌 3) 混合時の注意 4) 抗がん剤の取り扱い 4. チーム医療と薬物療法 1) 医療機関におけるチーム医療 2) 地域におけるチーム医療 3) 服薬指導の実際			
4	主な治療薬の薬理作用	1. 抗感染症薬		講義	②
5		2. 抗がん薬 ・ホルモン療法 ・分子標的治療 (免疫療法、漢方免疫療法)			
6		3. 免疫治療薬 4. 抗アレルギー薬			
7		5. 末梢での神経活動に作用する薬物 6. 中枢神経系に作用する薬物			
8		7. 心臓・血管系に作用する薬物			

9		8. 呼吸器系に作用する薬物		
10		消化器系に作用する薬物		
11		泌尿器・生殖器系に作用する薬物		
12		9. 内分泌代謝に作用する薬物		
13		10. 救急の際に使用される薬物		
14		11. 感覚器系に作用する薬物		
15	単位認定試験 (45分) まとめ	12. 血液・造血器系に作用する薬物		
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・ 疾病の成り立ちと回復の促進 2 臨床薬理学 メディカ出版			
備考	<参考文献>・今日の治療薬 南江堂			

科目名	保健医療論		対象学生・時期	2年生・前期
			講義時間(単位)	15時間(1)
講師名	①外部講師			
科目目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	医学・医療のあゆみ	1. 人類の誕生と医療の原始的形態 2. 古代・中世の医学	講義	①
	健康と疾病	1. 生活の場と健康 2. 労働と健康		
2	保健医療のあり方	1. 近代医学の発達 1) 近代医療と発達 2) 人工環境と健康問題		
		2. 21世紀の医療サービス 1) 保健医療サービスの提供体制 2) 日本の医療制度 3) 医療を支える人々		
3		3. 地域包括ケアシステム 4. 医療政策と医療計画 5. 医療と経済 6. 患者からみた保健医療の質 7. 保健医療チームの連携		
4	病院の仕組み	1. 入院・救急・外来・手術・チーム医療 2. 医療サービスと医学診断・治療		
5		3. 医療と診療記録 4. 先端医療		
6	医と倫理	1. 生命倫理とは 2. 患者の権利 3. 脳死と臓器移植 4. 生殖医療		
7		5. 遺伝学の発展と倫理的問題 6. 告知と終末期医療 7. 安楽死と尊厳死(人間の生と死) 8. クローン再生		
8	単位認定試験(45分)			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・系看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度1 医療概論 医学書院			
備考				

科目名	公衆衛生		対象学生・時期	2年生・後期
			講義時間(単位)	15時間(1)
講師名	①外部講師			
科目目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	健康と公衆衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生のあゆみ 2. プライマリヘルスケア 3. ヘルスプロモーション 4. ポピュレーションアプローチ 	講義	①
	疫学と健康に関する指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健統計の基本的な考え方 2. 人口の動向 3. 人口の動向把握と必要な指標 		
2	環境と公衆衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と生活環境 2. 健康問題と環境 		
	公衆衛生の対象と活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所・保健センターにおける活動 2. 保健行政 		
3	地域保健	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健法の理念と指針 2. 健康日本21 3. 健康増進法 4. 市町村保健センター 5. 保健所 		
	学校保健	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健安全法 2. 学校健康診断 		
4	生活習慣病の予防	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な生活習慣病の現状 2. 栄養・運動・休養 3. 喫煙・飲酒対策 4. 健康教育と早期発見 5. 循環器疾患の予防 6. 糖尿病の予防 7. 特定健康診査、特定保健指導 		
5	感染症とその予防	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症法 2. 検疫法 3. 予防接種法 4. 感染症の動向 5. 院内感染 		

6	職場の健康保健 (産業保健)	1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. 産業医 4. ワークライフバランス		
7	疾病予防と疫学調査法	1. 公衆衛生活動を進めるうえでたどる段階 2. エビデンス 3. 疫学調査		
	難病対策	1. 特定疾患治療研究事業		
8	単位認定試験 (45分)			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・健康支援と社会保障2 公衆衛生 メディカ出版			
備考	<参考文献>・国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会			

科目名	社会福祉		対象学生・時期	2年生・前期	
			講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	①外部講師				
科目目標	1. 社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	生活と社会福祉・社会保障	1. 社会福祉の理念 1) 基本的人権の擁護 2) ノーマライゼーション 2. 日本の保健医療福祉活動の基本方向 3. 諸外国における保険医療福祉活動の状況		講義	①
2		4. 社会福祉諸法の関連法と施策 1) 社会保険の変遷 2) 医療保険制度 3) 介護保健制度 4) 年金制度 5) その他の社会保険制度			
3	社会福祉行政	1. 保健福祉計画 2. 社会福祉の民間活動 3. 老人保健福祉行政 4. 職員、機関、施設			
4	対象別に観た社会福祉	1. 障害者(児)にかかわる法と施策 1) 障害者基本法 2) 障害者総合支援法 3) 身体障害者福祉法 4) 知的障害者福祉法 5) 発達障害者支援法 6) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律			
5		2. 児童にかかわる法と施策 1) 児童福祉法 2) 児童の虐待防止等に関する法律 3) 母子及び寡婦福祉法 3. 高齢者にかかわる法と施策 1) 老人福祉法 2) 高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律			

6	生活保護法と施策	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生活保護の基本原理と実施の原則 2. 実施機関 3. 扶助の種類と内容 		
7	社会福祉政策	<ul style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉実践の場 <ul style="list-style-type: none"> 1) 在宅福祉と施設福祉 2) 地域福祉 2. 社会保険および公的給付の沿革と概要 <ul style="list-style-type: none"> 1) 社会保険とは 2) 公的給付とは 3. 社会福祉・社会保障の現状と将来 <ul style="list-style-type: none"> 1) 福祉と看護の関係 2) 地域福祉・公的扶助論 4. 保健福祉医療の連携とマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 1) 保健福祉医療の連携 2) 保健福祉医療のマネジメント 		
8	単位認定試験 (45分)			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・健康支援と社会保障3 社会福祉と社会保障 メディカ出版			
備考				

☆：実務経験のある教官等による授業科目の授業計画書（シラバス）

科目名	関係法規	対象学生・時期	2年生・前期	
		講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	①外部講師 ②教官☆			
科目目標	1. 法規の概念を理解し、社会生活と法のつながりを理解する 2. 医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	法の概念	1. 法の概念 2. 衛生法 3. 個人情報保護と管理 4. 厚生行政のしくみ	講義	①
2	医事法規	1. 医師法 2. 放射線技師等に関する法律 3. 医療法		
3		4. 医療を支える法律 1) 医療・介護の提供体制 2) 移植医療に関する法律 3) 人の死に関する法律		
4		5. 薬務関係法規 1) 薬剤師法 2) 薬機法		
5		6. 看護師に関する法律 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	②
6	社会保険法	1. 費用保障 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 高齢者の医療の確保に関する法律 4) 介護保険法 5) 年金 6) 手当（給付金）	講義	①
7	労働に関する法規	1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. その他の労働関係法規		
8	単位認定試験（45分）			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 4 看護関係法令 医学書院			
備考				